

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)JV藤沢川名計画	階数	地上14F
建設地	藤沢市川名字原289番3,字新林384番5	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	905 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年3月20日
敷地面積	6,531 m ²	作成者	東鉄工業株式会社
建築面積	1,376 m ²	確認日	-
延床面積	14,051 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 71%

上記+ 以外の: 71%

上記+: 71%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
総合	自然に近いブラウンを基調とした、流行のない外観デザインとした。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
ペアガラス(LDの一部はペアガラスで耐熱強化ガラス)、防音サッシの採用や屋根・壁・床に十分な断熱をするなど、建物の熱負荷低減に配慮した。	ゆとりある階高・天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した。	隣接地が工場であるが、敷地周辺に緑化と屋上緑化を形成した。駐車場内に芝緑化を設けた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明設備及び潜熱回収型給湯器を採用し、エネルギーの削減を図った。	地球環境に配慮した材料(再生クラッシュラン)を採用した。	駐車場内の照明をLEDの庭園灯にしたり、屋上緑化を設けCO ₂ と光害への配慮を行った。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される